

日本ダウン症協会群馬支部 25 周年記念

荒川洋フルートコンサート



荒川洋 フルート

(新日本フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者)

うえだよう ピアノ

荒川知子とファミリーアンサンブル

荒川洋：しあわせのたね

林光：二羽の鳥、とびながら話している

ヘンデル：ラルゴ

久石譲：ふたたび 映画「千と千尋の神隠し」より

荒川洋：いつか見た青い空に

久石譲：映画「崖の上のポニョ」より

ポニョ来る～海のお母さん～テーマソング

ユー：ファンタジー

2013年6月9日(日)

記念式典 13時～

コンサート 13時30分～

ながめ余興場(群馬県みどり市大間々町)

入場には整理券が必要です。



主催：日本ダウン症協会群馬支部(問い合わせ・担当赤石 090-8012-6684)

後援(申請中)日本ダウン症協会・群馬県・群馬県教育委員会・群馬県小児保健会・(社副)群馬県社会福祉協議会・(社)群馬県知的障害者福祉協会・みどり市・みどり市教育委員会・桐生市・桐生市教育委員会・太田市・太田市教育委員会・日本放送協会前橋放送局・群馬テレビ(株)・(株)エフエム群馬・読売新聞東京本社前橋支局・朝日新聞前橋総局・毎日新聞社前橋支局・上毛新聞社・(株)桐生タイムス社・日刊きりゅう



荒川洋 (フルート)

宮城県出身。千葉県立津田沼高校音楽科卒業。国立音楽大学を経て、故アラン・マリオン、イダ・リベラ女史の薦めにより、パリ国立高等音楽院に入学。1997年 同音楽院フルート科をプルミエ・プリ（第一位）で卒業。第14回日本管打楽器コンクールにて入賞。

これまで、フルートを宮本明恭、アラン・マリオン、レイモン・ギヨー、イダ・リベラ、ヴァンサン・ルカの各氏、ピッコロをモーリス・ブルーヴォ氏、室内楽 をクリスティアン・ラルデ、モーリス・ブルグ、アラン・ムニエの各氏、初見をモニック・ブーヴェ、フィリップ・ベルノルド、パスカル・モラグスの各氏、楽 曲分析をフレデリック・デュリュエ氏に師事。

98年 日本に帰国後、小澤征爾に認められ、新日本フィルハーモニー交響楽団フルート副首席奏者として就任。09年首席フルート奏者に就任。

97年チェコ共和国において第6回ヤング・プラハ国際音楽祭に招待され、リサイタルや、プラハのオーケストラとの共演で好評を博す。06年ヴェネツィア室内合奏団と共演。07年より毎年仙台クラシックフェスティバルにてソリストとして参加。川上徹（チェロ）、藤原亜美（ピアノ）との室内楽グループ「Trio Liberte」としての活動、作曲家・林光氏、ギタリスト・福田進一氏など日本を代表するアーティスト達との共演を重ねている。

リサイタル活動やオーケストラとの共演、室内楽、アウトリーチなど幅広く活動。地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。全日本吹奏楽コンクール県大会の各地の審査員も務めるなど、後進の育成にも携わっている。また、多くのドラマや映画のサウンドトラックの録音にも参加している。

2010年NHK「どれみふぁワンダーランド」、2011年NHKBS1「地球テレビエルムンド」に出演。

近年、作曲・編曲も手がけ、自作自演ライブの開催や、公演のために地域にゆかりの作品を作曲するなど、柔軟で積極的な姿勢が好評を得ている。08年リリースの最新CD「フレンチ・コンポーザーズ」がレコード芸術誌にて特選盤となる。このCD発売記念コンサートはNHKにより収録された。2011年8月自作品集CD「インストゥルメンタル・カラーズ」をベルウッド・レコードよりリリース。

HP <http://hiroshiarakawa.com/>

ブログ <http://ameblo.jp/hiroshiarakawa/>



うえだ よう (ピアノ)

広島県出身。

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。声楽を村上綜、五十嵐修の各氏に師事。

イタリア語、ドイツ語、フランス語を始めスペイン語、チェコ語など諸外国語のディクッションを得意とする。

在学中より声楽、器楽の伴奏者として多方面で活躍。

ピアノを当麻宗宏、金井裕、仙石裕之、南院紀子の各氏に、コレペティを松井和彦氏に師事。

西日本音楽コンクール入賞。

フレキシブルな伴奏は声楽のみならず弦、管、打楽器等ソリストから幅広く支持を得ている。

また声楽アンサンブルや合唱曲、器楽曲など作曲・編曲の分野に於いても精力的に作品を書き評価を得ている。



荒川知子 (リコーダー)

千葉市出身。ダウン症の障害を持って生まれる。千葉市内の特別支援学級（たんぼぼ学級）で学び、中学校から仙台に転居。いずみ養護学校の高等部・専攻科を卒業。

現在、仙台市泉区高森にある作業所「すていじ仙台」でケーキやクッキーを作っている。「荒川知子とファミリーアンサンブル」として、全国各地で演奏活動を続けている。

ファミリーは、父・健秀はフルート、母・幸子はピアノ教師、兄・荒川洋は新日本フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者の音楽一家。幼少の頃から音楽に親しみ、特にリコーダーでその才能を発揮し、コンサートでは笑顔ともに美しい響きを届けている。

CD「イーハトーブ ウィンズ」「ありがとうの音楽」（コロンビア）で「愛の唄」を収録。荒川知子とファミリーアンサンブルのCD「みんなしあわせ」、CD「しあわせのたね」を発売し全国で好評。

宮城県共同募金会『赤い羽根親善大使』として、また熊本県人吉市『しあわせの親善大使』として委嘱を受け、全国活動をしている。